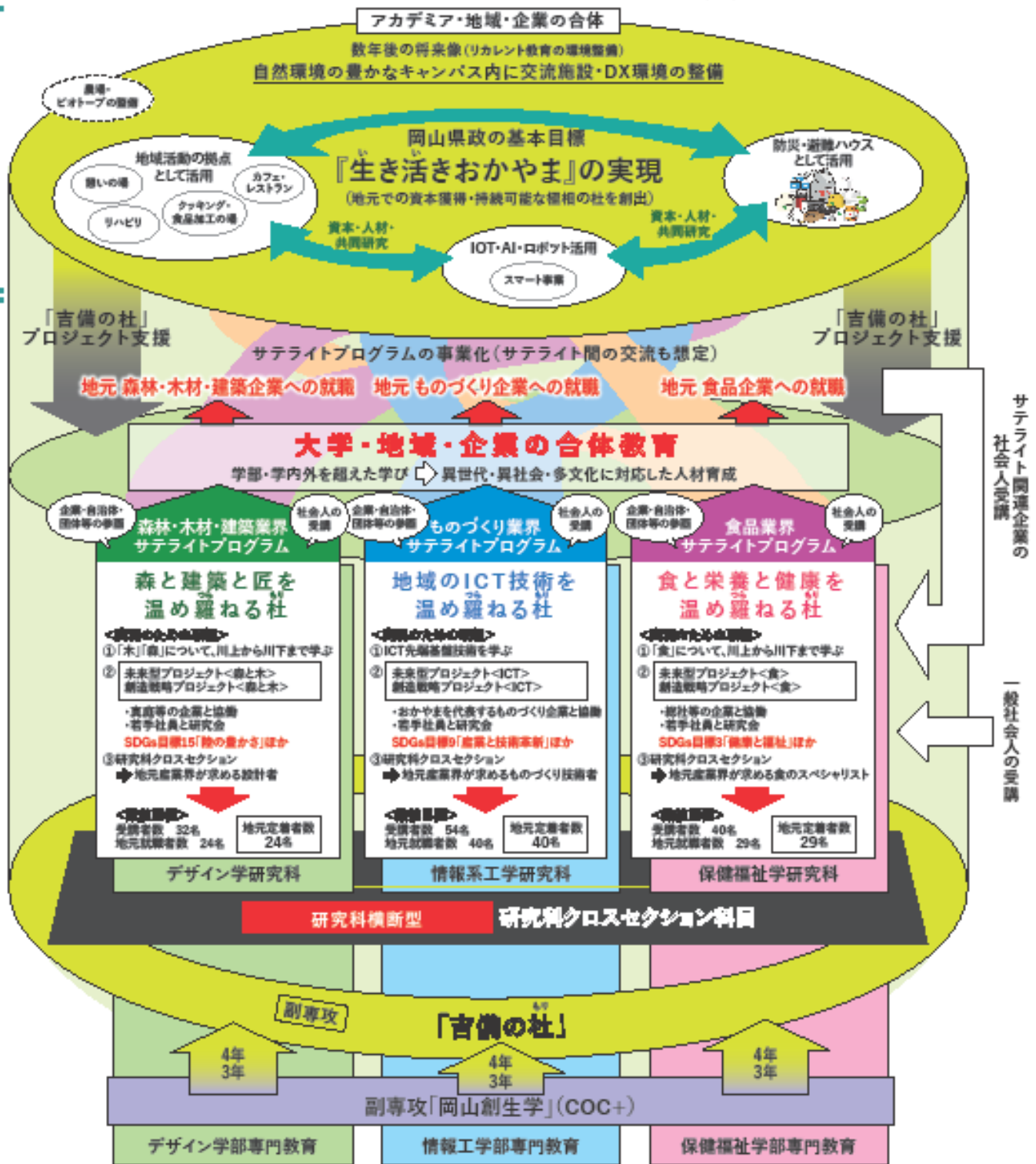


# 「吉備の杜」創造戦略プロジェクト

— 「未来型思考×地域力」を付加した雑草型人材育成 —

将来構想  
ネクストステージ

本事業



**社会的背景・要請**

・大学が地域社会の核となり、産業界、行政との多面的な連携に基づき、「地域社会のニーズを踏まえた質の高い高等教育の確保」と「高い能力を付加した未来社会を担う人材育成」が求められている。

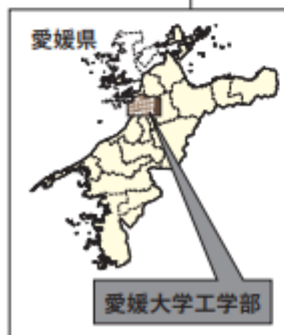
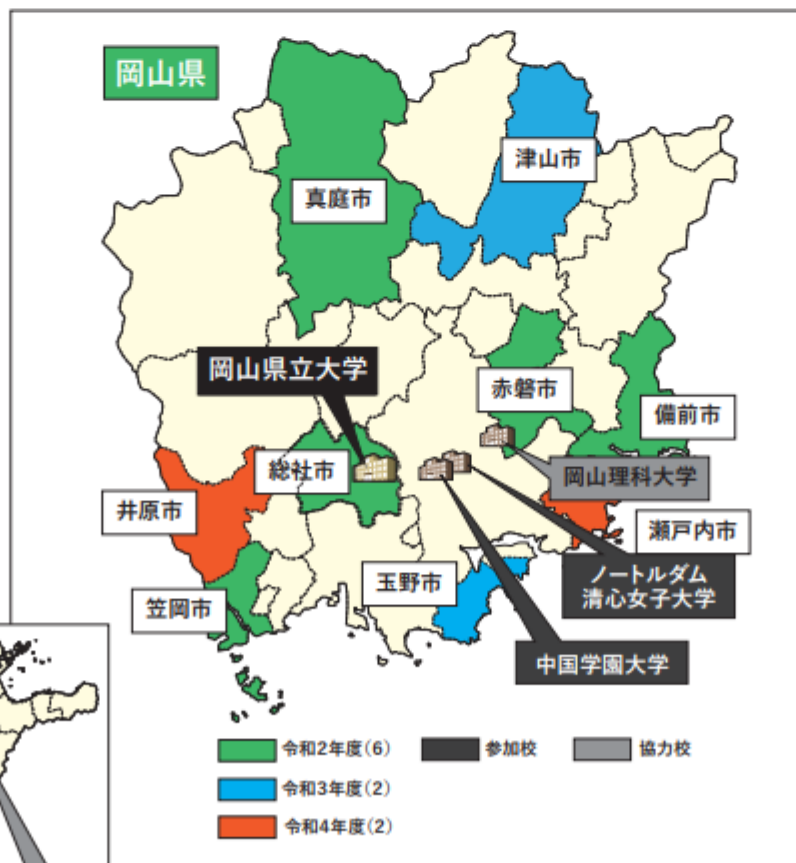
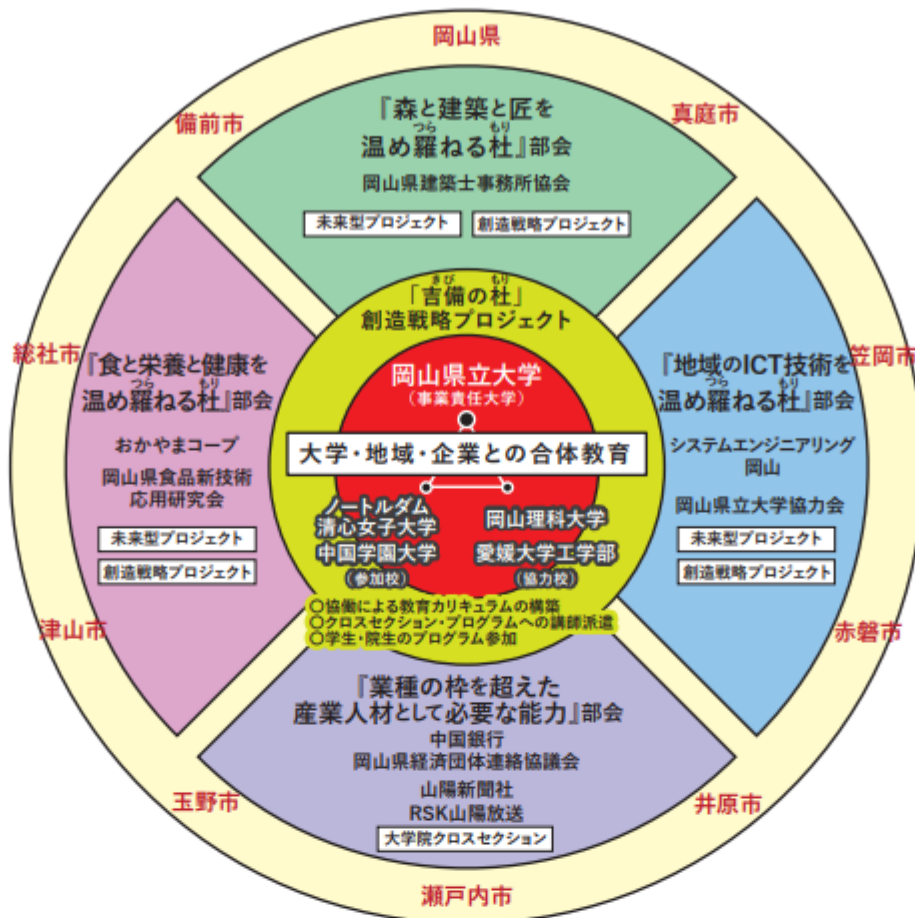
**期待される成果**

- ・予測不可能で急速な変化が生じる未来社会において、多種多様な環境圧をバネにする未来型思考と地域力を有した雑草型リーダーの輩出。
- ・社会ニーズに応える深い教養と実践知の世界を大学・地域・企業の共同体で教育。
- ・実学教育では低調な大学院進学への強化とリカレント教育の充実。
- ・大学群、地方公共団体、企業等が連携・協働し、地域が必要とする産業人材を一体となって教育し、「学生や社会人の地元就職促進」に努め、「地域活性化」につなげる。

**履修形態**

- ・3年次生～大学院生を対象に副専攻として設置。
- ・学部生は専門基礎科目と未来型プロジェクト、大学院生は研究科クロスセクション科目と創造戦略プロジェクトを履修。
- ・社会人は研究科クロスセクション科目と専門基礎科目をオンデマンドで受講(学外履修)
- ・全研究科生と社会人の受講で異文化・異社会による協働とチーム学修によるPBL演習を実施。

まび もり  
「吉備の杜」創造戦略プロジェクト



あたた づら  
【温め羅ねる】

古代、岡山県を中心とする地域は「吉備」と呼ばれ、「温羅」は古代吉備地方の統治者であったと伝えられている。我々は、岡山を支え、地域に必要とされる中核人材を、本事業により養成したい。この思いから、本事業を「吉備の杜創造戦略プロジェクト」とし、各教育プログラムにおいて、「温め羅ねる」ことにより、人材を養成することとした。

学部3～4年生  
温める

大学院生  
羅ねる